



10月28日、土砂災害が発生した場合に備えた地域防災力の向上検討として、住民参加型のワークショップの第2回目を立山町東谷地区で開催しました。

今回は河道閉塞を事例に、大規模土砂災害が起きた場合に地域でできることについて検討し、意見を出し合いました。

東谷地区は、過去の災害の経験から、従来から住民の防災に対する意識・関心が高く、取り組みが積極的な地域でした。今回の検討会でも、積極的な意見が多く出されていたので、地域の防災力がさらに高まっていくきっかけになったと思います。

【土砂災害に対する地域防災力向上検討会（第2回）】

日時：平成27年10月28日（水）

18：30～20：30

場所：谷口公民館（立山町）

参加者：東谷地区住民 26人

（白岩、四谷尾、虫谷、谷口）

見学者：富山県土木部砂防課

富山県富山土木センター立山土木事務所

富山市防災対策課

主催：立山砂防事務所

協力：立山町

＜内容＞

- ・前回作成した地域の危険箇所を記載したマップの見直し（情報の補足、見やすくする工夫など）
- ・避難にあたって地域でできることの検討
- ・大規模な土砂災害（河道閉塞）に関する勉強会・検討会
- ・検討会全体のふりかえり



マップの見直し



地区ごとに話し合った意見を発表



河道閉塞についての勉強会



大規模土砂災害への対応を検討

＜参加者の感想＞

◆大規模土砂災害が起きたら、ほかの地区の方とも協力していかなくてはならない。日頃からのつきあいが大切と感じた。◆行政に頼ってばかりでは駄目で、なかなか時間をもてないが、自分たちでも日頃から考える機会を地域で設けたい。◆自助が大切だと感じた。◆高齢化が進み、一人暮らしの高齢者も多い。一人暮らしの人を誰が助けるのかなど課題は沢山ある。地区で考えていきたい。

＜見学者の感想＞

- 住民の方々の防災意識の高さに感銘を受けた。
- 災害時は自助も大切となるため、地域防災力の向上に日頃から取り組んでもらいたいと思う。
- 災害情報が確実に届くよう徹底して取り組む。



富山県

富山市